

第34回 日本慢性期医療学会

(併催) 第14回慢性期リハビリテーション学会



健康経営からはじまる
地域共生社会（まちづくり）の実現
～慢性期医療が果たすべき役割とは～

会期 令和8年 11月 19・20日

会場 福岡国際会議場
(福岡市博多区石城町2番1号)

学会長 中尾一久
(医療法人社団久英会 理事長)

主催：一般社団法人日本慢性期医療協会 〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階
運営事務局：株式会社学会サービス 〒150-0032 東京都渋谷区鷺谷町7-3-101
TEL 03-3496-6950 FAX 03-3496-2150 E-mail:jamcf34@gakkai.co.jp



第34回日本慢性期医療学会



<https://www.gakkai.co.jp/jamcf34/index.html>



学長挨拶

健康経営とは、従業員の健康を重要な経営資源と捉え、戦略的に健康保持・増進に取り組むことで、企業の生産性や活力の向上、持続的な成長を目指す経営手法です。企業が積極的に職場環境の改善や健康支援施策を実施することで、従業員のモチベーションや定着率を高め、結果として業績向上や企業価値の向上につながると期待されています。

従って、地域のあらゆる業種の人々が健康経営を実践することで、理想的な地域共生社会（まちづくり）が実現されるはずです。

一方で、地域包括ケアシステム実現の根底にはまちづくりが必要です。そして、まちづくりの先には人々の幸せな生活（well-being）がなければなりません。我々は、2040年に向けて、安心・安全な生活を基盤として、経済的な豊かさを求めるのではなく、楽しく幸せな（心豊かな）生活が可能となる日本を目指すべきだと考えます。ただ単にお金をかけてまちづくりを行うのではなく、自助・互助・共助・公助の精神で、ご当地ごとの理想的なまちづくりを推進することが肝要です。そのためには、医療・介護・福祉が必要であることは言うまでもなく、特に慢性期医療がまちづくりの実現に一番近い存在だと考えます。

昨今、健康経営が一般企業や行政のみならず、医療・介護・福祉分野においても広く実践されていますが、これは健康経営の最終目的が well-being だからです。健康経営の実践は、まちづくりの一環であるとも言えます。

日本の地方都市である福岡で、慢性期医療がどのような形でまちづくりに貢献できるのか、そしてどんな well-being が待っているのか、創造するだけでもワクワクドキドキです。皆さんと一緒に心豊かな 2040 年の世界を創造してみたいと思います。

* well-being : WHO 憲章で肉体的、精神的、社会的に全てが満たされた状態



第34回日本慢性期医療学会
学長 中尾一久

医療法人社団久英会 理事長

演題募集カテゴリー

医療		ケア・マネジメント	施設別	
1	慢性期医療・治療	14 栄養マネジメント	27 介護医療院	
2	在宅医療・看護	15 口腔ケア	28 介護施設	
3	ターミナルケア・緩和ケア	16 排泄ケア	リハビリテーション	
4	感染症	17 身体拘束廃止	29 回復期リハ	
5	認知症	18 褥瘡・スキンケア	30 外来・通所リハ	
6	地域包括ケア	19 医療安全・事故対策	31 訪問（在宅）リハ	
職種系		20 IoT・ロボット	32 排泄リハ	
コミュニケーション		21 チーム医療	33 摂食・嚥下リハ	
7	看護	22 患者・家族とかかわり	34 理学療法	
8	看護師特定行為	23 地域連携	35 作業療法	
9	介護	24 スタッフ育成	36 言語聴覚療法	
10	医療ソーシャルワーク	経営管理		
11	薬剤	25 経営管理全般	37 リハビリテーション全般	
12	栄養管理	26 業務改善	38 代替療法・レクリエーション	
13	臨床検査	その他		
		39 その他		

プログラム（予定）

第34回日本慢性期医療学会	
シンポジウム 1	今後の医療と介護の行方～R8 診療報酬改定と R9 介護報酬改定を見据えて～
シンポジウム 2	医療 DX とまちづくり
シンポジウム 3	健康経営とまちづくり
シンポジウム 4	慢性期医療（かかりつけ医）とまちづくり
シンポジウム 5	まちづくりに向けた各専門職の取り組み～リハビリテーション・栄養・嚥下・排泄の視点～
シンポジウム 6	ホワイト 500 を目指した健康経営
特別講演	Well-being とまちづくり
特別座談会	医療界のレジェンドとマドンナ これからどうなる～日本の医療の行方～
第14回慢性期リハビリテーション学会シンポジウム	
医療機関と在宅（施設）との橋渡し～メディカルケアマネジャーの役割を考える～	
日本介護医療院協会セミナー	
介護医療院への期待と課題	
地域病病連携推進機構シンポジウム	
地域連携と高齢者救急～急性期病院の責務は？～	

演題募集期間

令和8年
5月1日（金）～6月30日（火）正午

発表方法

一般演題発表は全てポスター発表

※演題発表日時は、学長一任とさせていただきます。
※演題発表時間は、1演題6分を予定しております。

事前参加登録期間

令和8年6月10日（水）～9月11日（金）

事前参加登録 (事前振込)	参加登録費	14,000 円
	消費税	1,400 円
	計	15,400 円/名
当日参加登録 (当日現金)	参加登録費	20,000 円
	消費税	2,000 円
	計	22,000 円/名

第34回日本慢性期医療学会

主催

一般社団法人日本慢性期医療協会
〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5
シャトレ市ヶ谷2階

運営事務局

株式会社学会サービス
〒150-0032 東京都渋谷区鷺谷町7-3-101
TEL:03-3496-6950
E-mail:jamcf34@gakkai.co.jp